

女



甲骨文字

3画 (ジョ・ニョ・ニョウ・おんな・め・むすめ)

色々な解釈がありますが、

「女」という文字は、両手をしなやかに重ね、ひざまずく女性の姿からできています。

娩

 「ベン」

「免」は、新生児の生まれる形にかたどり、「娩」の原字。子どもを生むの意。



嬢

 「ジョウ」
むすめ

「娘」もとの字。「襄」は、胸元が盛り上がり膨らむの意味でおんなの意。

娘

 「ジョウ」
むすめ

娘の「むす」は国歌「君が代」の歌詞にある「苔のむすまで」の「むす」と同じで「生じる」「発生する」「生まれる」などの意。娘の「め」は「女(め)」の意。



娠

 「シン」
はらむ

「辰」は、ふるえるの意。みごもった子が動くの意味から、みごもるの意。



妊

 「ニン」
はらむ

女性が胎児を体内にいたく、みごもるの意。

始

 「シ」
はじめ

「女から生まれるのが人生のはじめ」ということから、広く「始め」の意。

女偏でみる

「なぜ、お婿さんは男性なのに女偏が付くの？」という一言から、女偏と男偏のつく漢字を調べてみました。女偏はたくさんありましたが、男偏はありませんでした。漢字の世界では、男女共同参画というよりも女性優位かもしれませんね。色々な解釈がありますので、ここでは一部を取り上げてみました。みなさんは、表紙の字はいくつ読めましたか？



姑 「コ」
しゅうとめ

ふるい女性の意味から、
夫の母、しゅうとめの意を
表す。

婦 「フ」
おんな

- 「帚」は、ほうきの意。
ほうきを持ち、家の掃除をす
る女性の意。よめ・つま・おん
なの意。
- かざる(修)を示す帚とから
なり、着飾った嫁の意から広
く女の意となった。



姥 「ボ・モ」
ばば

老いた女性、ばば・うばの
意を表す。

女の一生



妻 「サイ」
つま

- わがものとする意の(取:シュ)を示す
妻とからなり、自分のものとした女、
つまの意。
- 髪飾りを整えた女の形。結婚式の時
の着飾った女の姿。夫・妻は結婚式
のときの正装した男女の晴れ姿を示す。

婚 「コン」

結婚の儀式が日暮れに
行われたことから、縁組
みの意となった。

姻 「イン」

- 「因」には、続く・繰り返す
という意味がある。
古代中国では決まった氏
族の間で結婚が繰り返され
た。

嫁 「カ」
よめ

女性が生家から夫の
家にゆく、とつぐの意
を表す。

表紙の答え

婿	セイ むこ	むすめの夫。 「胥」は、同居するの意味。自分の娘と同居す る男性、むこの意を表す。
妣	ヒ	亡母。生前には「母」、死後には「妣」という。
妖	ヨウ	艶かしい、色っぽく美しい、男をひきつける 女の魅力の形容。なまめく。あでやか。怪し いもの。
姨	イ	おば。母の姉妹。
娥	ガ	美しい。美人。 「我」は、ぎざぎざのあるおのの象形。ぎざぎ ざの髪飾りをつけた、みめよい女性の意味を 表す。
婕	ショウ	美しい。

姆	ボ	うば(姥)	うば(乳母)。
媪	オウ		年老いた母。女性。
嫋	ジョウ		しなやかで美しい。 風にそよぐさま。
媿	キ		「愧」と同字。はじる。はずかしめる。
嫂	ソウ		兄の妻。歳をとった女性の称。 「叟」は、年寄りの意。
威	イ		強い。いかめしい。おそれる。人を従わせ る力。
姦	カン		かしましい。心がねじけて正しくない。男 女の関係が正しくないこと。
妒	ト		「妬」と同字。ねたむ、やきもちをやく。 他人のよいところをうらやみ憎む。

富山眞也さん (43歳)

職業 僧侶
 妻 看護師 (今年1月から職場復帰)
 長男 7歳
 二男 4歳
 長女 1歳

妻と子どもの笑顔に感謝！

Q. お子さんとの関わりはどのようにお持ちでしょうか。

A. 大半は妻が。私は不規則勤務なので、時間が空いたとき、妻が家事をしている間は、私が子どものことを見ています。土日は勤務のときが多いので、平日に相手をしています。サッカーしたり、ゲームをしたり。上2人が男の子なので体を使った遊びが多いかな。自分の時間が欲しいときは離れているときもありますが。私が子どもに遊んでもらっているという感じですね。

Q. 家事については話し合って分担しているのでしょうか？

A. いえ。大半は妻がしてくれます。どちらかという妻から言われたことをさせていただいて。家の修理などは自分からしています。

Q. 奥さんがお出かけになって、3人のお子さんを任せられるときもありますか？

A. あります。上の2人はある程度自分達で遊んでいますが、1歳半の子は、私がずっと抱っこしている状態です。そんなに苦にならないですが、泣き出すと、ちょっと手に負えないときもありますね。



Q. 最初のお子さんのときから育児には積極的に関わってみえたのですか？

A. 積極的というのかな。妻が出かけたときに面倒を見たり、普段からもおむつ替えはしておりました。

Q. お子さんに望むこと、こういう風に育てて欲しいというのはありますか？

A. 自然と育ててくれたらありがたいなと思います。子どもたちが悩んだときには助けていきたいなと思います。

Q. 娘さんがお坊さんになりたいと言ったら？

A. 本人がしたいのであれば女の子でも応援します。けっこう女性の方もおりますので。

Q. もし今、育児休暇がとれたらどうしますか？

A. まる一日子どもと接することがなかなか無いので、旅行とかキャンプとか何かを体験できるようなことをしたいです。

Q. 奥さんに対して何か一言ありますか？

A. 子どものこと、家事も全てしていただいているので御苦労さんという言葉しかないですね。

Q. 子育てで大変なこと、嬉しいことは？

A. 自分の思い通りにならないのは大変ですね。嬉しいのは笑ったときかな。今は必死ですけど、子どもたちが大人になったときに「ああ子育てしてよかったな」と思えるかなあ。大きくなったら無視される時期もくるかもしれないので、今のうちにできるだけ関わりたいですね。



川端 賢一さん (39歳)

職業 三重県職員
妻 教師 (育児休業中)
長男 3歳
二男 1歳



育児休暇のおかげで、妻の大変さがわかりました！

Q. 育児休暇を取られた時は、上のお子さんはいくつでしたか？

A. ちょうど2歳です。1ヶ月取りました。

Q. 職場の反応はどうでしたか？

A. 県の男女共同参画・NPO室でNPOの担当をしていますが、職場の上司は男女共同参画の担当室長なので、応援してもらいました。休暇中は仕事から完全に離れるつもりでしたが、実際には、やむを得ず、メールや電話でやりとりをしたこともありました。

Q. 育児休暇をとられた前例はありますか？

A. 県では、毎年2人から4人程度の男性職員が取得しています。比較的取りやすい環境ではあると思いますが、実際はなかなか取得者が増えていないのが現状です。制度をどう活かすかが課題だと思います。

Q. 職場復帰した時の雰囲気はどうでしたか？

A. 「どうやった？いい経験やったやろ。」と言って応援してもらいました。休暇中、自分の仕事は、皆さんに負担してもらっていたので、暖かく迎えてくれて嬉しかったです。

Q. 育児休暇を取ると聞いた時、奥さんはどう思いましたか？

A. 取ると聞いたときは、ありがたいって。職場の大変なこともあると思うけれど、それでも取ってく

れたのがすごく嬉しかったです。(妻)

Q. これからの子育てとの関わり方をどう考えていますか？

A. 育児休暇中は、毎日が子どものペースで進み、理解していたつもりでも、やってみなければわからないというのが実感でした。

育児休暇を経験したおかげで、ちょっとだけですが1日中育児をしている妻の大変さがわかりました。

そのような中で、子どものことで自分が先に気づいたことを妻に伝えられたことは、些細なことですが嬉しかったです。

Q. これから育児休暇を取得しようと考えている方にアドバイスはありますか？

A. 「自分ができるか」と不安に思っている人には、「取ったら何とかなる」とお伝えしたいです。周りの環境が難しいようであれば、何が難しいのか、取るためにはどうしたらいいのかという方法を考えてみてはどうでしょうか。悩んでいるなら、取られることをお勧めします。

Q. 子育てをするとこんないいことがあるよ、楽しいよということを、今から子育てをする男性に一言お願いします。

A. 子育てに、そんなに身構えなくてもいいのかなと思います。「父親でも一緒に時間が少ないと、子どもにとったら知らない人と同じだから不安になるものだよ」と聞いたことがあります。毎日少しでも、子どもと一緒に時間を作っていきたいと思っています。

育児休暇を取れない人でも、素敵な子育てを頑張っている男性もたくさんいますし、あまり気張りすぎないで、子どもとの交わりを楽しむ、というように気楽にしていたほうがいいのかと思います。



川端さんのブログ『父(とと)の子育ち日記』で、育児休暇を取られたことが書かれています。

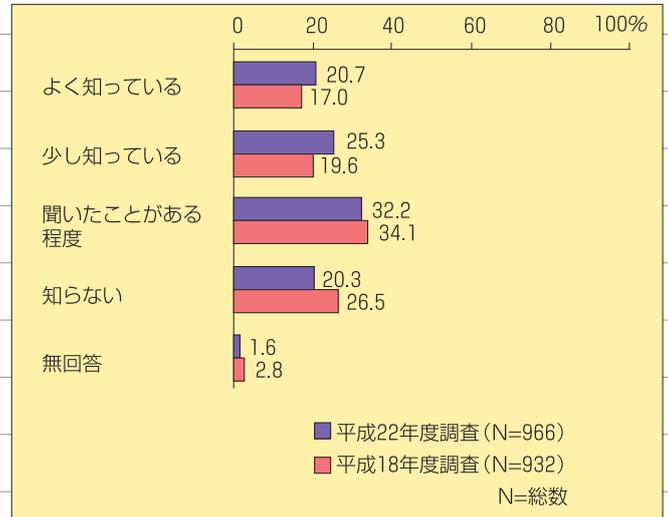
男女共同参画に関するアンケート調査結果より

松阪市では、昨年8月10日から8月31日の間で、市内にお住まいの20歳以上の男女2,000人の方を対象に「男女共同参画」に関するアンケートを実施しました。その中から、調査結果を抜粋してお知らせします。

○あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

男女共同参画とは、男女が、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する機会が確保されることにより、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野（家庭、学校、職場、地域など）における活動に参画し、ともに責任を担うことをいいます。

「男女共同参画」という言葉の認知度は、平成18年度調査と比較すると約10ポイント高くなっており、言葉の認知度は徐々に高くなってきています。



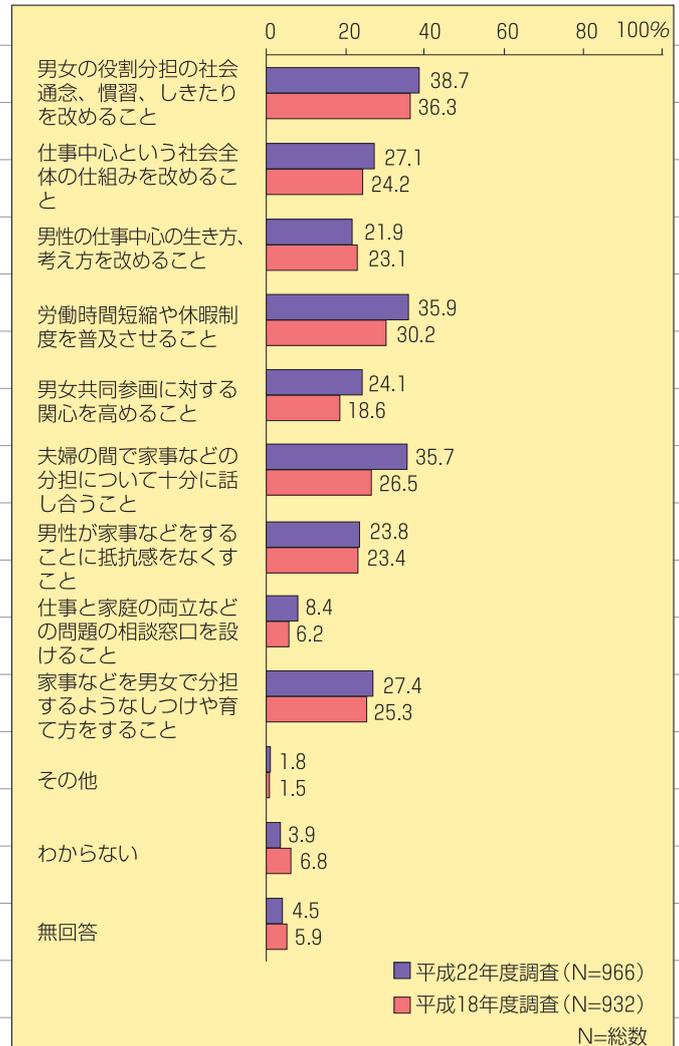
○今後、男性・女性がともに家事・子育てや教育・介護・地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

「男女の役割分担の社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」、「夫婦の間で家事などの分担について十分に話し合うこと」が必要と考えています。

家庭・地域は、社会を構築する基礎であり、生活の基本的な場です。

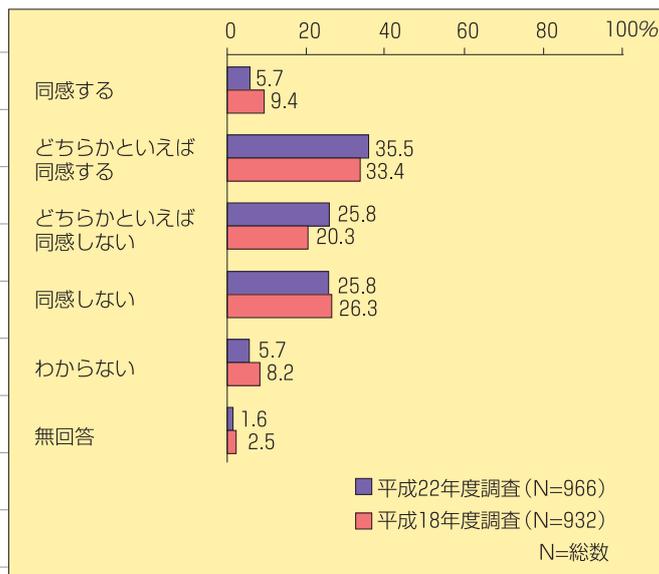
働く女性が増える中で、仕事と家事、子育てを両立して男性女性がともに家庭生活とその他の活動とのバランスの取れた生活をするためには、どうすればいいのでしょうか。

制度づくりは徐々に進んできましたが、今後は、制度を利用できる環境が必要になってきます。



○「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

「同感する」「どちらかといえば同感する」をあ
 わせた割合は、41.2%となっていますが、平成18
 年度調査と比較して大きな差異はありません。
 性別による固定的な役割分担意識の解消には、男
 女共同参画に対する意識を高めるための活動を、
 今後も引き続き充実させ、啓発を図っていきます。



「日本女性会議2010きょうと」に参加して

平成22年10月1日(金)・2日(土)、京都市で「日本女性会議2010きょうと」が開催されました。この「日本女性会議」は、男女共同参画社会の実現を目指し全国の参加者と、ともに考え話し合う会議で、毎年各都市連携のもと開催されています。今回は、松阪市の市民公募により、5名の方が参加されました。

日本女性会議に出席した数日後、「観光遊覧船初の女性船長」という新聞記事を読みました。高専商船学科の専攻課程を修了した22歳の彼女は、冒頭「まだ船の世界に女性は少ないけど、だから何という感じ。違いはないのに」と語っています。「男女共同参画」ということば自体なじみにくいものですが、まさにこの船長の呼びかけ、「能力を発揮しようとする人が社会の一員として認められることを要求しましょうよ。多様な個の存在をお互いに尊重しましょうよ。」ということに他ならないのです。

そして、こうした能動的な個によって構成される社会は、権利よりも義務こそが求められる厳しい社会であることも確かです。人々の意識が変わることによって、少しずつ社会がそうした方向へと向かっていく。そうなりつつあることを、今回の日本女性会議で確認しました。
 (小林美保子)

さまざまな分野の方々のお話を伺いながら、「この大勢の皆さんがネットワークすれば、どれほどの力になるだろう。」と頼もしく思いました。

結婚に限らず、職業や地域コミュニティなども、ぴったり大満足という状況は稀であると思います。むしろ違いを自分にはない能力ととらえ、相互補完し、夫婦・家族・地域・会社・社会というチームのキャパシティを大きくしていきたいと願います。

どの時代にも若者達は生きづらさを感じながら、社会や大人との接点を探し続けていくというのは変わらぬテーマであり、次世代へ自分と社会のメッセージを伝えることが大人の責任であると思います。
 (中川よし子)

秋晴れの2日間、日本女性会議2010きょうとに初めて参加させて頂き、たくさんの女性のみなぎるパワーを目の当たりにしました。今回の大会のテーマは「ひとりひとりが輝く、色彩あふれる世界へ」との事。紫式部や清少納言をはじめとして、千年もの昔から歴史を彩ったすばらしい女性を数多く排出してきた悠久の都、京都らしさで魅力たっぷりでした。2011年は水の都・松江市で開催されるとのこと、皆様もぜひ一度参加されてはいかがでしょうか。
 (松浦光義)



“介護と地域福祉” 介護する人が約500万人、内男性が100万人と言われています。そしてその多くの人が苦しんだり、辛い思いをしているとの事、少子高齢化は少子多老人化、これからは介護は増える事はあっても減る事はない。親の介護、伴侶の介護、今は若いから元気だからと言う人も、この現実には立ち会わなければならない時が多くの人にやってくるであろう。有意義であった勉強会の内容を多くの人に発信、社会に貢献したいと思っている。
 (竹林 予)

日本女性会議2000津から10年、同じことをつづけてこそ本物と先輩から教えられました。先人に感謝しながら男女がそれぞれの役割をどのようにして時代を越えたのか。

今後も地域で実践し努力して行きたいと思
 います。
 (鈴木久美子)

あなたならどうする？

<家族構成>



おじいちゃん



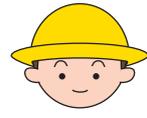
A男さん
(会社員)



B子さん
(パート勤務)



花子ちゃん
(小学生)



太郎ちゃん
(保育園児)

Q. Bさんが病気で寝てしまいました。食事はどうしますか？

- ① Bさんが、無理をしてつくる。
- ② A男さんが、買い物に行き食事をつくる。
- ③ Bさんをおいて、みんなで外食をする。
- ④ 近くの店で買ってきて、みんなで食事をする。



Q. 花子ちゃんが、将来大工さんになりたいと言いました。

- ① もっと女の子らしい職業をすすめる。
- ② 頑張ってなろうね！と応援する。



Q. おじいちゃんの介護が必要になりました。誰が介護をしますか？

- ① Bさんが、パートをやめて介護をする。
- ② ホームヘルパーを利用して、A男さんとBさんが協力してする。
- ③ 介護施設にあずける。



Q. 太郎ちゃんの保育参観です。誰が出席しますか？

- ① A男さんとBさんが行く。
- ② Bさんが行く。
- ③ A男さんが行く。



Q. 自治会の会合があるのですが、A男さんは仕事で出席できません。

Bさんが出席しますが、出欠表は誰の名前を書きますか？

- ① A男さん
- ② B子さん
- ③ おじいちゃん



家事や育児、介護の分担を無意識に男女で差別した考え方をしていませんか。
「自分らしさ」を大切に男性女性がともに個人の能力が発揮できる社会の実現をめざしていきましょう。